

2011年5月23日

佐藤 雄平知事殿

福島県の復興を祈念する千羽鶴について

はじめまして。私はノースカロライナ州チャペルヒルに在住いたしております田中元浩と申します。東日本大震災の被災者の県民の皆様にご心よりお見舞い申し上げますと併に亡くなられた皆様のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

この度の震災の状況を報道を通して知り、被災地の皆様のことを思いますと大変心が痛み、離れた土地であっても何か被災地の皆様のためにできることはないかと家族で考え、息子が通う当地の小学校、*Seawell Elementary School* にチャリティー実施の申し入れを行いました。Mrs. *Marny Ruben* 校長を始め、同校 PTA から快く賛同を得ることができ、"Change and Cranes for Japan" が開始されました。このチャリティーは、日本の被災地のための義援金を集めそれを Red Cross (赤十字社) を通じて送るばかりではなく、被災地の一日も早い復興を祈念し、日本の文化である千羽鶴を皆で折り、それを日本に送ろうというものです。

千羽鶴に関してですが、私の息子は日本で生まれ、4歳まで日本で過ごし、折り紙が大好きなので、鶴を折って被災地の皆さんを応援したいという息子の気持ちと、日本の文化である折り紙を当地の小学校で広めたいというもとの彼の願いが組み合わさり、学校側に提案するに至った次第です。そして、チャリティーがスタートして約二月弱の間に三千羽の鶴が集まりました。生徒の一人一人が学校や家庭で復興への願いを込めて一生懸命に作りました。特に同校の美術教師である Mrs. *Annie Cramer* の献身的な協力もあり、達成することができました。この3セットの千羽鶴を、被害が最も大きかった三県（福島県、岩手県、宮城県）にお送りしようということになり、この度福島県の皆様を代表し、佐藤県知事にお送りするものです。

この千羽鶴は紙の種類もサイズも不揃いですが、*Seawell Elementary School* の様々な人種の子供達が心を込めて作りましたので、お受取頂ければ幸甚です。

未筆ながら、福島県の一日も早い復興、福島原発問題の早期解決、並びに福島県民の皆様のご健勝を祈念いたしております。

田中 元浩